



荒川 義孝 議員

令和3年度予算編成に向けた 市政クラブの政策提言について

第6次高浜市総合計画 アクションプランについて

問 全職員が政策、施策、事業目標を共有し、目標1の「まちへの想いを育み、いつまでも住みたいと思える

まちをつくります」を実現するための取り組みは。

答 研修機会を設けての共有については、これまで、公共施設の再配置などの重要な政策については必要な都度実施してきた。また、各部局長が作成する部局長の執行宣言や各グループリーダーが作成する業務実施方針等について、所属職員と面談を行い共有する機会を設けている。

問 「地域で活躍する職員」をどのように育成していくか。

答 育成には2つの視点が重要であると考えている。1つは、職員が地域との関係性を築くことにある。もう1つは市の課題を認識し、課題

解決に必要なノウハウを身に付けることにあり、広い視野や視点を持つとともに、政策、施策、事業目標等を理解することが大切である。

問 目標3の「学び・文化・スポーツの輪を広げ、まちのチカラを育みます」において、「プラチナ大賞」の優秀賞、特に地域人財育成賞を受賞した「たかはま夢未来塾」の現在までの活動の総括と今後の可能性については。

答 未来塾での経験は、学業や職業選択への影響を与えているだけでなく、卒業生が未来塾のサポーターとして活躍する機会も増え、「学びを通して培った知識や技能を活かす」といった本市の生涯学習が目指す「学びの循環」も見られるようになった。今後も、市民や事業者の方々の力を活かしながら、子どもたちの生きる力につながる企画に取り組んでいきたい。

問 目標6のまちを元気にする方策として、観光政策をどう展開をしていくか。

答 限られた資源だけではなく、鬼師と鬼滅の刃の「鬼コラボ」のように、魅力ある外部のヒト、モノ、コトとコラボを組むことの有効性。また、長期間にわたって足を運ばせるなどの視点を取り入れながら事業を展開していく。



杉浦 康憲 議員

『令和3年度予算編成に 向けて』について

問 地域防災力を推進するため、本年度の避難所検討会の実施状況は。

答 1月より「高浜小学校」及び「たかぴあ」等を対象に実施予定。

問 交通安全対策について

令和3年度に予定している新たな事業は。

答 県において、自転車用ヘルメット購入費に対する市町村への補助金交付に向けた準備が進められているので取り組んでいきたい。

問 住み慣れた自宅で安心して暮らし続けることは市民の誰もが願うことで、それを支える医療と介護の連携が重要だが、現在の取り組み状況は。

答 医療機関や介護関係機関が連携し、多職種協働で医療と介護を一体的に提供できる体制として、ICTを活用した「えんjoyネット高浜」の運用を開始している。本年度内に、愛知県内全ての医療機関が利用できるよう進めており、幅

広く支援の輪が広がっている。

『投票率の向上』について

問 期日前投票は、4回の市議選で約6%投票率は上昇。更なる投票率の向上に向けて、移動期日前投票所や共通投票所の設置、期日前投票所の増設の考えは。

答 期日前投票所の市役所も市域のほぼ中央、市内11か所の投票所も移動しやすい距離にあり、増設の考えはないが、引き続き動向を注視していく。

問 投票のしやすさ向上の為、記号式投票（あらかじめ候補者が書かれた投票用紙に、「○印」などを記す投票方法）の導入の考えは。

答 期日前投票や指定病院等での不在者投票は、制度上これまでと同じ自書式の投票用紙が用いられる。市議会議員一般選挙のように候補者が多い場合、投票用紙に印刷する氏名が小さくて見にくくなる心配もある。

現在のところ記号式投票を導入する考えはないが、有権者の意思を反映させやすい方法として、他市の状況も参考にしながら、研究を行っていききたい。